

令和6年度 9月補正予算案等概要

I 総括

1 歳入歳出予算補正

(1) 補正規模

(単位:千円)

	当初予算	現在予算	今回補正	補正後予算
一般会計	1,082,537,000	1,084,946,237	2,769,999	1,087,716,236
特別会計	721,798,583	721,844,583	544,000	722,388,583
企業会計	342,111,363	342,111,363	0	342,111,363
合 計	2,146,446,946	2,148,902,183	3,313,999	2,152,216,182

【参考】

今回補正における一般会計の主な財源内訳

○一般財源	・繰越金	1,976,637
○特定財源	・国庫支出金	239,361
	・県支出金	10,000
	・市債	544,000

(2) 補正の概要

(単位:千円)

① 公共事業等	<u>840.987</u>
② その他	<u>1,929.012</u>
③ 市債管理特別会計	<u>544.000</u>

2 繰越明許費補正〔3件〕

(単位:千円)

追加補正額	<u>788.466</u>
-------	-----------------------

3 債務負担行為補正〔2件〕

(単位:千円)

追加補正額	<u>5,394.160</u>
-------	-------------------------

Ⅱ 内容

1 歳入歳出予算補正

① 公共事業等

840,987 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
道路整備事業 交通安全施設等整備事業(直営灯LED化等)の増額	375,494	道路下水道局
河川整備事業 準用河川改修事業(香椎川)の増額	363,829	道路下水道局
民間建築物耐震化促進事業 木造戸建住宅耐震改修工事・共同住宅耐震診断への助成金の増額	73,000	住宅都市局
港湾整備事業 アイランドシティはばたき公園整備事業の増額	28,664	港湾空港局

② その他

1,929,012 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
スポーツ振興基金積立金 市民のスポーツ・レクリエーションの普及振興のため、基金を設置(世界水泳の残余財産贈与金の積立で)	1,916,596	市民局
児童手当法改正対応 児童手当法の改正に伴うシステム改修	12,416	総務企画局

③ 市債管理特別会計

544,000 千円

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
一般会計への市債収入金繰出金	544,000	財政局

2 繰越明許費補正〔3件〕**788,466 千円**

(単位:千円)

工期の都合等により、年度内に完了しないもの
※交通安全施設等整備事業 外

3 債務負担行為補正〔2件〕**5,394,160 千円**

(単位:千円)

項 目	補正額	所 管
乙金浄水場整備工事	5,206,095	水道局
河川整備事業	188,065	道路下水道局

令和5年度決算概要

<一般会計・特別会計>

(単位:千円)

区 分	一 般 会 計	特 別 会 計
最終予算額	1,176,051,444	762,492,809
歳入決算額(A)	1,116,762,778	711,991,404
歳出決算額(B)	1,099,372,699	708,010,063
形式収支額(C=A-B)	17,390,079	3,981,341
翌年度繰越財源(D)	8,027,717	329,067
実質収支額(E=C-D)	9,362,362	3,652,274
摘 要	【歳入過不足額】 △ 25,868,190 【歳出不用額】 35,230,551	主な実質収支 国民健康保険事業 1,400,767 介護保険事業 917,252 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 809,397 後期高齢者医療 173,160

<企業会計>

(単位:千円)

区 分		収益的収支	資本的収支
下水道事業	収入	57,739,700	33,801,492
	支出	49,949,166	58,854,373
	差引	7,790,534	△25,052,881
モーターボート競走事業	収入	74,726,563	-
	支出	69,704,569	4,478,189
	差引	5,021,994	△4,478,189
水道事業	収入	40,257,748	12,849,489
	支出	33,259,672	26,499,848
	差引	6,998,076	△13,650,359
工業用水道事業	収入	235,059	138,000
	支出	316,567	187,954
	差引	△81,508	△49,954
高速鉄道事業	収入	42,270,916	11,810,867
	支出	33,514,644	22,673,282
	差引	8,756,272	△10,862,415
企業会計 計	収入	215,229,986	58,599,848
	支出	186,744,618	112,693,646
	差引	28,485,368	△54,093,798

令和5年度企業会計利益の処分

(単位:千円)

区 分	当年度未処分利益剰余金	利益剰余金処分額				翌年度繰越利益剰余金
		(資本金)	(減債積立金)	(建設改良積立金)	(一般会計繰出金)	
下水道事業	10,972,215	4,322,050	6,650,165	-	-	-
モーターボート競走事業	16,286,510	-	-	-	4,000,000	12,286,510
水道事業	9,064,829	5,600,354	3,464,475	-	-	-
工業用水道事業	474,086	-	-	-	-	474,086
高速鉄道事業	-	-	-	-	-	-
企業会計 計	36,797,640	9,922,404	10,114,640	-	4,000,000	12,760,596

令和5年度決算に基づく健全化判断比率等について

「健全化判断比率」は、いずれも早期健全化基準を下回る水準

- 「実質公債費比率」は、8.0%で早期健全化基準を17.0ポイント下回る
- 「将来負担比率」は、66.9%で早期健全化基準を333.1ポイント下回る

健全化判断比率の各指標	令和5年度決算	早期健全化基準	財政再生基準	摘要
実質赤字比率【フロー指標】 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率 $\frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$	—	11.25%	20%	○実質収支額 <u>一般会計 94億円の黒字</u>
連結実質赤字比率【フロー指標】 全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率 $\frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$	—	16.25%	30%	○実質収支額 <u>全会計 632億円の黒字</u> ・主なもの 一般会計 94億円 モーターボート競走 212億円 水道 151億円 下水道 144億円
実質公債費比率【フロー指標】 一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率（3か年平均） $\frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{算入公債費等})}{\text{標準財政規模} - \text{算入公債費等}}$	8.0%	25%	35%	前年度から0.4ポイント低下 （参考：令和4年度決算 8.4%）
将来負担比率【ストック指標】 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率 $\frac{\text{将来負担額} - \text{充当可能財源等}}{\text{標準財政規模} - \text{算入公債費等}}$	66.9%	400%		前年度から7.4ポイント低下 ○将来負担額の内容 市債 13,677億円 債務負担 277億円 公営企業 2,604億円 一部事務組合等 21億円 退職手当 887億円 三セク等 134億円 （参考：令和4年度決算 74.3%）

資金不足比率		令和5年度決算	経営健全化 基準	財政再生 基準	摘 要
資金不足比率 【フロー指標】 公営企業ごとの 資金の不足額の事 業規模に対する比 率	モーターボート競走	—	20%		
	下水道	—			
	水道	—			
	工業用水道	—			
	高速鉄道	—			
	集落排水	—			
	中央市場	—			
	港湾整備	—			
	市営渡船	—			

※ 実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、黒字の場合「—」で表示します。

※ 資金不足比率については、資金不足が生じていない場合「—」で表示します。

※ 令和5年度の標準財政規模は、4,536億円です。

※ 標準財政規模とは、税収や普通交付税など各自治体に共通した標準的な収入のことで、自治体が通常水準の行政サービスを提供するうえで必要な一般財源の目安となる数値です。